**【様式１】**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　番　 号

年 　　月 　日

　　京都府立城陽支援学校長　様

　　　　　　　学校（園・所）長

「特別支援教育体制整備の推進」巡回相談の申請について

下記のケースについて、実態把握及び教育的対応のための専門的な指導・助言を受けたいので、巡回

相談を申し込みます。

記

１ 相談ケース 　　　年　　　　組　（ 男　・女 ）

**【様式2-1】**

**相　談　票（学校・園　用）**

令和　　年　　月　　日記入

　これは、相談したい内容について書いていただくものです。*校内委員会で検討の上*、ご記入ください。

（ふりがな）

児童生徒氏名　　　　　　　　　　　　　（男・女）　生年月日　　　年　　　月　　　日（　　　歳）

学校(園)・学年　　　　　立　　　　　　学校　　　　年 　　記入者（　　　　　　　　　）

１　お困りのこと（相談したいこと）をご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

２　学校が聞いている障害名（障害種別ではなく、診断名）を書いてください。

（＊例：自閉スペクトラム症、ＡＤＨＤ、ＬＤ等）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 障害名等の診断 | 医療機関・相談機関名 | 医師・相談者名 |
|  |  |  |
|  |  |  |

　３　校内委員会の見解をご記入ください。（気になる行動の見立てや支援に関わって悩んでいること）

|  |
| --- |
| ＜校内委員会実施日＞　　月　　日  ＜見解＞ |

４　次の資料を添付してください。

　（１）本児の特性を理解するための**典型的なエピソードの記録**（アセスメント票にご記入ください）

　　　　※困っているエピソードと同時に、「こう指導したら、このようにうまくいった。」、「この

ような環境や場面では落ち着いている。」等のエピソードの記述があると、分析や手立ての検討に役立ちます。

（２）検査資料の写し （今までに検査を受けたことのある方のみ）

※検査結果のまとめだけではなく、検査結果用紙等。プロフィール表だけではなく、解釈が記入してあるもの。

**【様式2-2】**

**相　談　票（保護者 用）**

令和　　年　　月　　日記入

　　これは、相談したい内容について書いていただくものです。

なお、あなたの許可なしに他の機関に提供することはありません。

　（ふりがな）

　お子さんの名前　　　　　　　　　　　　（男・女）　生年月日　　　　　年　　　月　　　日（　　　歳）

保護者の名前　　　　　　　　　　　　　　　　学校(園)・学年　　　　立　　　　学校(園)　　　　年

電話番号

１　お困りのこと（相談したいこと）を書いてください。

|  |
| --- |
|  |

２　お子さんの特徴として当てはまると思われるものにチェックしてください。

|  |
| --- |
| □不安が強い【具体的にお書き下さい（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）】  □身体症状がある【頭痛・腹痛・吐き気　その他（　　　　　　　　　　　　　　）】  □集団行動（大人数）が苦手　□生活リズムが崩れている【起床：　　時　就寝：　　　時】  □食欲がない　□過敏さがある【聴覚・視覚・触覚・嗅覚　その他（　　　　　　　　　　　　　）】  □コミュニケーションが苦手　□相手の気持ちが読みにくい　□相手の気持ちを読みすぎる  □読みの苦手　□書きの苦手　□算数が苦手　□学習の理解が難しい □不器用さがある【手先・身体】  □じっとしていることが苦手　□集中が途切れやすい　□聞く力が弱い　□忘れやすい・忘れ物が多い |

３　医療機関や相談機関で「障害名等の診断」があれば、書いてください。

　　（例：自閉スペクトラム症、ＡＤＨＤ、ＬＤなど）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 診断日 | 障害名等の診断 | 医療機関・相談機関名 | 医師・相談者名 |
| 年　 月　 日 |  |  |  |
| 年　 月　 日 |  |  |  |

４　今までの相談で助言されたことがあれば書いてください。（今度の相談で相談担当者が知っておくべき特記事項のみで結構です。

）

|  |
| --- |
|  |

**【様式2-3】**

**ア セ ス メ ン ト 票**

作成日：令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　 作成者：

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相談対象者　＜Ａ＞ | 主　訴　の　内　容　＜Ｂ＞ | | | | | | | | | |
| 名前  生年月日    学校・学年 | 保護者から  学校から | | | | | | | | | |
| 家族構成・家族状況　＜Ｃ＞ | 生育歴・教育歴　＜Ｄ＞ | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | | |
| 学校・学級のようす　＜Ｅ＞ | 学力（国語・算数・その他）＜Ｆ＞ | | | | | | | | | |
| 通常学級・特支級（知・情・肢) | ↓学習についての相談の場合は、テストの粗点もご記入ください | | | | | | | | | |
| 前学期の評定（　年　学期　段階）＜Ｇ＞ | | | | | | | | | |
| 国語 | 数学 | 理科 | 社会 | 英語 | 図美 | 技家 | 保体 | 音楽 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 行動・社会性　＜Ｈ＞ | 言語・コミュニケーション　＜Ｉ＞ | | | | | | | | | |
|  |  | | | | | | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 諸検査結果（知能・認知特性・その他）＜Ｊ＞ | | 運動・基本的生活習慣・その他　＜Ｋ＞ |
| 新版K式  （　　　年　　　月）  認知・適応（CA）  言語・社会（LS）  全領域 | WISC-Ⅳ  （　　　年　　　月）  全検査IQ  言語理解　　知覚推理  ワーキングメモリ  処理速度 |  |
| 検査名（　　　　　）　（　　　年　　月） | |
| 身体・医学面　＜Ｌ＞ | | 興味・強い面・指導に利用できるものなど＜Ｍ＞ |
|  | |  |
| 学校の見立てや支援＜Ｎ＞ | | |
| ・□にチェックをしてください(複数可)　・【　】内はあてはまるものに○を付けてください  □不安が強い【具体的にお書き下さい（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）】  □コミュニケーションに課題がある　□気持ちの読みにくさ  □読みの苦手　□書きの苦手　□算数が苦手　□知的発達の遅れが疑われる  □衝動性・多動性　□不注意【集中が途切れやすい・聞く力が弱い・忘れやすい】  □不器用【手先・身体】□非常にマイペース【周囲を気にしない・ゆっくり・集団行動が苦手】 | | |
| 【今までしてきた支援や結果】  ＜学級における支援と結果＞  ＜通級指導教室等における支援と結果＞  ＜家庭における支援と結果＞ | | |

*※　否定的なエピソードだけではなく、肯定的なエピソードも記載してください。（手立ての設定には不可欠。）*

*箇条書きで、具体的、端的に記入する。原則として「Ａ３」版１枚（「Ａ４」版２枚）以内。*

**ア セ ス メ ン ト 票（記入例）**

作成日：令和　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　 作成者：

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ケース　＜Ａ＞ | 主　訴　の　内　容　＜Ｂ＞ | | | | | | | | | |
| 名前　*城陽　花子*  生年月日　*平成〇〇年〇月〇日*    学校・学年*〇〇市立〇〇小学校　６年1組* | 保護者から  *・朝起きられず、登校をしぶる。*  学校から  *・２学期より週２～３日程度欠席する。*  *・教室ではほとんど寝ている。*  ・アセス　作成の理由 等 | | | | | | | | | |
| 家族構成・家族状況　＜Ｃ＞ | 生育歴・教育歴　＜Ｄ＞ | | | | | | | | | |
| *父(会社員) 出勤が早く、本人とはほとんど顔を合わせない。本人理解はある。*  *母(会社員)　検査や個別支援に前向き。夕方18時以降は在宅。*  *弟（小２）本人との仲は良好。*    ・家族構成　兄弟の有無・学年等  ・離婚歴・再婚歴のある場合、何歳の時かも  ・両親の祖父母など、生活面でかかわりがある親戚との関係も書けると良い  ・家庭からの情報収集が必要 | *・〇〇市立〇〇保育園　多動、指先不器用。*  *乳幼児健診では経過観察。*  *・就学前相談で言葉の遅れの指摘。*  *・小５～　〇〇小学校通級指導教室に通室。*  ・中高生であっても就学前の様子から記入  ・言葉や体の発達の特徴  ・療育機関や放課後ディ等の利用  ・引っ越し等による学籍の変更 | | | | | | | | | |
| 学校・学級のようす　＜Ｅ＞ | 学力（国語・算数・その他）＜Ｆ＞ | | | | | | | | | |
| *・授業中はほとんど寝ている。通級のみ前向きに取り組んでいる。*  *・忘れ物が多く、提出物が出せていないことが多い。個別で注意しても出せない。*  *・整理整頓が苦手で、机の中や周囲にものが散らかっている。*  *・卓球部に所属。部活は前向きに活動している。*  主訴に関わるようなことや全般的な傾向　等 | *・漢字の読みは小４程度。文字は乱雑で枠内におさまらず、形が崩れる。*  *・問題文を自分で読んで理解することが苦手。読み上げると一定理解できる。*  ・読み書きや理解の状況  ・算数の計算や文章題の理解  ・発表、提出物について　等 | | | | | | | | | |
| 前学期の評定（6年1学期末/平均；5段階）＜Ｇ＞ | | | | | | | | | |
| 国語 | 数学 | 理科 | 社会 | 英語 | 図美 | 技家 | 保体 | 音楽 |
| 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 42/75 | 24/68 | 45/76 | 68/71 | 53/72 | 48/36 | 35/32 | 22/35 | 35/32 |
| 行動・社会性　＜Ｈ＞ | 言語・コミュニケーション　＜Ｉ＞ | | | | | | | | | |
| *・特定の仲が良い友達を心の支えにしている。*  *・朝、登校に間に合うように起きられないと欠席。遅刻や早退は嫌がる。*  *・大きな音は苦手。和太鼓演奏は欠席。*  ・他者と関わる時の様子、友達の中の姿  ・休み時間の過ごし方  ・性格に関するようなこと  ・周りを見て行動できるか等  ・家庭と学校との様子の違い　等 | *・話しかけられると応答するが会話が続きにくい。自分から話しかけることはない。*  *・早口で声が小さく、聞き取りにくい。*  *・困ったことがあると自分からは言えずに固まる。尋ねると首振りや選択で答えられる。*  ・会話の流暢性  ・困った時の発信方法  ・吃音や構音障害、発音のくせについて  ・大人や同年代との会話の得手不得手  ・一方的な会話になりがち　　等 | | | | | | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 諸検査結果（知能・認知特性・その他）＜Ｊ＞ | | 運動・基本的生活習慣・その他　＜Ｋ＞ |
| 新版K式（*〇〇教育支援センター*）（〇〇年〇月〇日）  認知・適応（CA）*95*  言語・社会（LS）*82*  全領域　*88* | WISC-Ⅳ*（△△医院*）  （〇〇年〇月〇日）  全検査IQ　*82*  言語理解*78*知覚推理 *85*  ワーキングメモリ*86*  処理速度 *95*  *所見　不注意傾向が見られる* | *・睡眠、食事等基本的な生活習慣は確立。*  *・なわとび、ボール投げ苦手。ボディーイメージが弱い。体を動かすことは好き。*  *・スイミング、体操の習い事をしている。*  *・細かい手指操作苦手。*  ・家庭での基本的生活習慣の聞き取り  ・運動面での気づき　等 |
| ・検査名、時期、検査場所  ・数値と所見をまとめて記載 | |
| 身体・医学面　＜Ｌ＞ | | 興味・強い面・指導に利用できるものなど＜Ｍ＞ |
| *・インチュニブ服薬（H31.４～）〇〇医院〇〇Dr.*  *・発達性協調運動障害（R2.1）〇〇医院*  *・骨盤サポート座布団を使用している。*  *・階段を上る際、膝が上がらず内また気味に足が外に回る。靴はつま先内側がすれている。*  ・主治医、服薬、診断に関する情報  ・アレルギー等に関する情報  ・身体の使い方や姿勢に関する具体的なエピソード　等 | | *・体を動かすこと、工作が好き。図工〇。*  *・タブレット学習は特に前向き。*  *・〇〇のアニメが好き。阪神ファン。*  *・読書は苦手だが、読み聞かせは好き。*  *・担任とのお話の時間を楽しみにしている。*  ・活動として興味があること  ・学習の目標や報酬、余暇活動として活用できそうなこと　等 |
| 学校の見立てや支援＜Ｎ＞ | | |
| ・□にチェックをしてください(複数可)　・【　】内はあてはまるものに○を付けてください  □不安が強い【具体的にお書き下さい（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）】  □コミュニケーションに課題がある　□気持ちの読みにくさ  ☑読みの苦手　☑書きの苦手　□算数が苦手　☑知的発達の遅れが疑われる  ☑衝動性・多動性　□不注意【集中が途切れやすい・聞く力が弱い・忘れやすい】  ☑不器用【手先・身体】□非常にマイペース【周囲を気にしない・ゆっくり・集団行動が苦手】 | | |
| 【今までしてきた支援や結果】  ＜学級における支援と結果＞  *①できるだけ視覚支援を多く取り入れる。（指示内容を黒板に書き出す、提出物チェック表）*  *→視覚化して示すことは有効。特に、持ち物を張り出しておくと忘れ物が減った。*  *②担任と個別に話す時間を定期的に持ち、登校へのモチベーションにつなげる。友人関係などで本人の思い込みや勘違いがあれば、振り返りや指導の場とする。*  *→個別面談は登校のモチベーションとして一定効果が見られた。反面、面談の時間だけ登校して他の授業は欠席することもある。*  ＜通級指導教室等における支援と結果＞  *・語彙学習、国語の先行学習や教科時間内で取り組めなかった内容の補充。*  *→分かって使える言葉の数が増え、感想文を一人で書けるようになった。*  ＜家庭における支援＞  *・宿題の文章問題を、必要に応じて読み上げてもらう。答え合わせは学校で行う。*  *→読み上げ支援ができた時には、宿題に前向きに取り組めた。保護者も、読み上げればできると本人の学力について前向きに感じることができている。答え合わせをなくすことで、家庭で本人と保護者の衝突が減り、両者の安定につながった。* | | |

*※　否定的なエピソードだけではなく、肯定的なエピソードも記載してください。（手立ての設定には不可欠。）*

*箇条書きで、具体的、端的に記入する。原則として「Ａ３」版１枚（「Ａ４」版２枚）以内。*